

朗読を楽しむ会 第三回 「高瀬舟」（著・森 鷗外）

「朗読」岸本 久美子 氏

源氏物語を中心とした王朝文学関係の市民講座、講演の講師として活躍され、日本朗読検定協会朗読インストラクター資格も取得、大きなホールでも朗読会を行われており、広く朗読活動に携わっております。



「企画」 岩倉図書館、岸本久美子氏

京都を舞台にした近代小説の中から、今回は高瀬舟を取り上げました。高瀬舟の舞台は江戸時代、大正時代に書かれたものですが、今もその味わいは変わることなく、中学校の教科書にも取り上げられていますので、だれもが一度は読まれたことがあるかと思えます。今も古びることのない名作を朗読で味わっていただき、新しい本の魅力に触れていただきたく企画いたしました。

「高瀬舟」 あらすじ

弟殺しの罪で高瀬舟に乗せられて島流しにされる喜助は、なぜか晴ればれとしていく。護送の役目の同心・羽田庄兵衛はそれを不思議に思い、彼の心持ちを問うてみる。喜助は、島送りになったら食べさせてもらえる上に鳥目二百文を頂戴して有難いと言ふ。聞けば、が犯した弟殺しというのは、自殺を図って死にきれず苦しんでいる弟に手を貸し死なせてやったということだった……。

「高瀬舟は京都の高瀬川を上下する小舟である……」から三十分余りに渡る朗読でしたが、朗読者の凛とした声の魅力や、人物の語り口の違いも巧みに表現され、次第に聴く者は小説の世界へ引き込まれていきました。

参加者の方には、森鷗外がこの話を書いた思いを綴った「高瀬舟縁起」等の資料をお渡ししました。



参加された方々からは、岸本先生のお声が素晴らしく心に残る朗読でした。自分で読んでいるのとは違う別の響きを感じられた。随分前に読んだが、改めて作品の素晴らしさに触れることができました。朗読で聴くことによって創造力がかきたてられた。声を出して読むことはないのです、新鮮な気持ちで聞けました。日本語の音としての美しさを再確認できました。朗読のことが気になっていましたので、良い機会となりました。等のご感想をいただきました。

昨年に続き朗読会を開催いたしました。雨模様で足元お悪い中、岸本先生並びにご参加の皆様有難うございました。

朗読を楽しむ会 第3回

日時：10月28日(土) 午後3時から

会場：京都市岩倉図書館

朗読：岸本久美子氏



<プロフィール>

源氏物語を中心とした王朝文学関係の市民講座、講演の講師として活躍。日本朗読検定協会朗読インストラクター資格も取得し、朗読活動に携わる。

作品：「高瀬舟」 作：森鷗外

大正時代に書かれた作品ですが、時代が変わっても人の心に響きます。今もその味わいは変わることなく、多くの人に読み継がれています。中学校の教科書にも取り上げられており、読んだことのある方も多いのではないのでしょうか。古びることのない名作を、朗読でもう一度味わってみませんか。

NHKの朗読に関するドラマや乃木坂46による朗読番組が放映され、今、朗読が静かなブームとなっています！是非この機会に、中学生や高校生、そして大人の方もその年代に関わらず、自分で読むのとほまた一味違う朗読の魅力に触れてみませんか。新しい本の楽しみ方が見つかるかもしれませんよ！



京都市岩倉図書館

〒606-0013 左京区岩倉下在地町16

☎ 075-702-8510

★ 開館時間
月・木曜日 午前9:30～午後7:00
水・金・土・日曜日 午前9:30～午後5:00
★ 休館日 毎週火曜日